

ディスコン通信・彩の国

埼玉県ディスコン協会 会報

第2号

2018年（平成30年）7月発行

第12期定期総会報告

事務局長 松本 元伸

日 時 2018年4月29日（日）16:30～18:15

場 所 所沢市こどもと福祉の未来館 多目的室

各支部長から支部会員名簿と欠席者の委任状を提出

総会資料を各支部の会員数に応じた部数を配布

以下、総会資料の次第に従って進行（司会：松本事務局長）

1. 開会（総会の成立確認）：会員総数 186 名、本人出席 26 名、委任状出席 149 名、

出席者合計 175 名（会員数の 85%）で総会は成立（松本事務局長）

2. 議長選出：「会則 11 条」により会長（山田会長）が務める

3. 議長挨拶：山田議長の挨拶

昨年度は、10 周年の節目として「ディスコン通信・彩の国」創刊号を発行したが、大勢の方のご協力により立派なものが出来上がったとの謝意表明あり

4. 議事

第1号議案：2017 年度活動実績報告（松本事務局長）

第2号議案：2017 年度会計報告（芦田会計理事）監査報告（千葉監事）

第3号議案：役員改選（案）提案（山田会長）

◎結論：以上の3案は質疑・意見なし、原案の通り承認

第4号議案：2018 年度活動計画（案）提案（山田会長）

（1）上部団体（全日本ディスコン交流協議会）への加入

質疑・意見は多岐に及んだが、以下の骨子説明を経て

・「インストラクター制度」は、当協会の「インストラクター認定研修会」とほぼ同様（費用、講習内容等）にて当協会が継続実施

但し、上部団体会費・インストラクター納付金の負担発生

・当面は、上部団体加入に伴っての各支部からの本部納付金は現状維持

・「認定証」の発行は全日本ディスコン交流協議会と当協会の連名となり、インストラクターの対外的信用性と価値が増大

・当協会に「ルールブック」がなかったが、上部団体加入に伴い全日本ディスコン交流協議会発行の「ディスコン普及啓発ブック」（当協会のルールと近似）を採用することとなる（インストラクター認定研修会の教材、県大会・体験教室・練習会、受託事業等）

・「新ルールブック講習会」を当協会が責任を持って年内に開催

◎結論：出席者多数の賛意表明（拍手による）があり、提案の通り承認

（2）基本的方針

（3）具体的活動方針

【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

（4）その他

◎結論：上記（2）から（4）は提案の通り承認

第5号議案：2018年度予算（案）提案（芦田会計理事）

◎結論：質疑・意見なし。提案の通り承認

第3号議案（役員改選）の承認に伴い、監事に就任された佐野重信氏（所沢支部）より自己紹介を兼ねた新任の挨拶あり

5．議長解任

6．閉会

各支部から会員数に応じた本部納付金を納付した

7．懇親会：新所沢駅前の居酒屋「一休」にて実施、参加者 19 名

※ 追記：後日（6月3日）開催された当協会役員会にて決定・確認された事項

（1）新ルールブック「ディスコン普及啓発ブック」は、130部購入し、その配布方法は、当協会のインストラクター全員（2018.4.29 現在 105 名）に無料配布

（2）新ルールブック講習会：

- ・講師は、会長又は副会長又は事務局長が行う
- ・会場は3か所：①さいたま支部・川口支部 ②所沢支部 ③横瀬支部・長瀬支部
- ・開催回数：1会場3回（年内）合計9回
- ・体験会や練習会の1部に編入、説明40分間
- ・講習会修了証（名刺大）を作成授与

（3）ブックが追加必要の際は、松本事務局長へ（1冊会員は500円、会員外は600円）

全日本ディスコン交流協議会加入について

会長 山田 武

当協会は、2007年10月に「日本ディスコン協会」（本部岡山県）の下部組織である運営事業本部（大阪府、その後「全国ディスコン連盟」と名称変更）を窓口として設立しましたが、2011年4月に岡山の協会と大阪の連盟が組織関係を絶ってしまい、当協会としてはどちらの団体に所属するかを選択する必要に迫られました。その際、当協会はどちらにも所属せず、埼玉県独自の道を歩んできました。（古い会員のインストラクター認定証の発行団体が日本ディスコン協会運営事業本部又は全国ディスコン連盟となっているのに対して、2011年以降の認定証発行団体が埼玉県ディスコン協会となっているのはそのためです）

その当時、大阪の全国ディスコン連盟はカーリンコンというディスコンと似た用具を開発、「日本カーリンコン協会」という組織も設立し、活動をディスコンからカーリンコンへとシフトしました。当協会に対してもカーリンコン協会への加入を勧められましたが、埼玉県内にはディスコンがかなり浸透しているため、カーリンコンは導入せず、ディスコンを継続してきた経緯があります。

新潟県、福島県、北海道、鹿児島県などでは、カーリンコンに移行したようですが、関西圏では、ディスコンとカーリンコンの両方を実施しています。その中で、大阪府、奈良県、滋賀県の各ディスコン協会が中心となって、2014年6月に「全日本ディスコン交流協議会」という組織を設立しました。当協会にも加入の誘いがありましたが、年に1回開催される全国ディスコン大会にはオープン参加するものの加入は見送ってきました。

【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

以上、長々と過去の経緯を説明しましたが、今年度から「全日本ディスコン交流協議会」に加入することにした理由は以下のとおりです。

- ① インストラクター認定証が「全日本ディスコン交流協議会」発行になるので権威付けになる。
- ② 「全日本ディスコン交流協議会」発行の普及啓発ブック（ルールブック）を使用することで、ルールの徹底を図ることができる。
- ③ 「全日本ディスコン交流協議会」への加入により、他の都道府県とのディスコン交流が図れる。
- ④ 上級指導者研修に参加できる。
- ⑤ 「全日本ディスコン交流協議会」は、岡山の「日本ディスコン協会」とも接触し、将来の一本化を目指している。

なお、新ルールブックの導入に伴い、各地域で「新ルール講習会」を行っています。インストラクターの方は、11月3日に開催する「埼玉県ディスコン・オープン大会」までに講習を受講して下さい。受講された方には「講習会修了証」をお渡しします。

奈良いかるが奮戦記

川口支部 佐久間 清

「第6回全国ディスコン交流大会 in 奈良いかるが」が、平成30年5月12日（土）9：30～16：30、奈良のすこやか斑鳩・スポーツセンターで行われました。

参加チームは48チーム、府県別では（大阪11・滋賀11・京都8・奈良12・和歌山2・富山1・埼玉3）で、各チームが3ブロックに分かれて6試合行いました。

私は埼玉Bチーム（町田・伊藤・佐久間＝**写真**）で（奈良市1・滋賀高島・大阪東淀川2・滋賀坂本・奈良斑鳩3・大阪八尾）の6チームと対戦しました。

最終成績は（4勝1敗1引分）で、順位は48チーム中9位に成りました。

第1試合は、奈良市1と 対戦し（2対10）であっという間に完敗でした。（奈良市1は6勝0敗で、最終第2位にはいりました）

第2試合は、滋賀高島と対戦し（7対0）で完封勝ちです。滋賀高島は最終第4位。

調子が出た所で30分の昼食タイムが入り、ちょっとやる気を削がれました。

第3試合は大阪東淀川2と対戦し（5対5）で引き分け。大阪東淀川2は最終10位。勝てた試合で残念・・・。

第4試合は、滋賀坂本と対戦し（7対3）で勝ちです。滋賀坂本は最終46位。楽な展開で勝てました。

第5試合は、奈良斑鳩3と対戦し（7対3）で勝ちました。奈良斑鳩3は最終15位。この対戦は審判がいいかげんで審判との戦いに成りました。

第6試合は、大阪八尾と対戦し（7対5）で勝ちました。大阪八尾は最終23位。この試合は接戦で、最後に寝返りディスクのプレゼントを貰い勝ちました。八尾のおばちゃん「遠くから来てくれ



【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

たからしゃあないわ」と笑っていました。

埼玉AチームとCチームもそれぞれ6試合行いましたが、Aチーム（中川・池沢・鷹巣）は最終5位に入りました。このチームは埼玉県大会の優勝メンバーです。Cチーム（松本・山田・金森・村田）は26位という結果でした。

全国大会になると、各県とも1チームは強いチームを作っていると感じました。埼玉もこれからは選抜チームを作る事にして、各地域で日々レベルアップしなくてはと思います。今回参加して思った事は、勝ちたい気持ちと技術がまだチームとして伴っていませんでした。しかし、上位入賞に入るレベルには有ると思いますので、これからも練習を続けます。



埼玉県の参加メンバー

インストラクター認定研修会に参加して

所沢支部 佐野 重信

3月21日（水）所沢市民体育館会議室1に於いて、埼玉県ディスコン協会による第21回インストラクター認定研修会が行われました。この研修会には所沢支部から5名、その他坂戸市から1名参加しました。（受講者とスタッフの集合写真参照）

研修会では山田県ディスコン協会会長から挨拶のあと、ディスコン全般にわたっての競技方法とルールの解説や審判スタッフの役割について説明があり、その後実技体験を通して審判のやり方、試合のルールや競技の進め方について細かな指導があり、審査試験を受け全員無事認定証書を授かりました。最後に磯県協会副会長から「健康と生きがいについて」講演がありました。

県ディスコン協会の資料によると協会の会員が、2018年4月29日現在186名、このうちインストラクター研修修了者が105名と半数以上の会員が資格を持っています。毎月各支部でディスコンの講習会や体験教室が行われ、「いつでも、どこでも、誰でも楽しめる」ニュースポーツが完全に定

【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

着したように見えます。ディスコンが楽しむ段階から、技術が向上して勝負する要素が大きくなってきました。ましてや、大会の成績上位チームに賞品が出るようになると目の色が変わるようなゲームになることもあります。そうなる競技にはしっかりとした運用と厳格なルールが要求されてきてインストラクターの存在が重要となります。

私は、所沢ニュータウン地区のボランティア団体「ふれあい会」に所属していますが、10年ほど前に当時の磯会長さんや山田現会長さんから地域にディスコンが紹介され急速に広がっていききました。所沢市で行われた第5回埼玉県ディスコン・オープン大会で優勝も経験しました。今では老若男女誰でも楽しめるディスコン競技、私達の毎月の定例会ではふれあいの輪を広げ、インストラクターもその一翼を担って交流を深めています。



「スポーツフェスティバル 2018」に参加して

長瀬支部長 高田 純子

埼玉県主催の「スポーツフェスティバル 2018 in 熊谷」が、熊谷スポーツ文化公園で5月27日（日）に開催され、本部役員2名、所沢支部1名、横瀬支部3名、長瀬支部2名、合計8名で参加しました。

青空の下、会場では踊りやダンスが披露されたり、色々なニュースポーツの体験会のほか、食べ物屋さんも数多く出店し大賑わいでした。ディスコンの会場は「にぎわい広場」（屋外）で、地面がブロックタイルのため、ブルーシートを敷いてコートを作り、10時～15時まで行いました。（写真参照）



人通りが良い所で、ディスコンへの参加を積極的にお声かけした結果、天候も良かったことで、予想以上に130名以上の参加があり、担当者としてうれしくなりました。

午後から横風が強くなり、コートのビニールシートが飛ばされそうになり、集中力を欠く場面もありました。しかし、担当者一同でしっかり支えながら何とか乗りきり、最後まで行うことが出来ました。

【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

年齢層では、特に小学生がディスコンに興味を持ったようです。何回も繰り返して参加する子まであり、親御さんもそれに釣られ、そのうえ祖父、祖母までが入ってきたことは、大変良い傾向ではないかと感じました。参加者の中には、市内町内会の副会長さんがおられ、ディスコンと言うニュースポーツに強い関心を示されました。

このフェスティバルを機に、今後熊谷市内の多くの方に、ディスコンを楽しんで頂きたいと願っています。



熊谷ドームを背景に 参加者8名

川越市北公民館「ニュースポーツ・ディスコン」体験教室が開講

副会長 磯 竹栄

この度の体験教室の開講に先駆けて、川越市北公民館から平成28年9月20日（火）午前10時～11時30分「ゆう遊学級（高齢者学級）」の講師依頼を受けて、「地域の中で生きがい探し」と題し講演を行いました。これは公民館事業の一環として行われたものです。

60歳以上の方が80名参加しました。この講演の中で、社会参加や仲間づくり、世代間交流のツールとして、いつでも、どこでも、だれでも、簡単に出来る「ニュースポーツ・ディスコン」のリーフレットを配布して紹介しました。館長や職員、参加された多くの方が興味を持たれました。

その後、平成29年度北公民館の事業として「いきいき暮らそう～ディスコン教室」の講師（指導）依頼があり受託しました。実施に当たり、北公民館が市報により次の通り募集して頂きました。

＊日時：平成29年10月11・18日（水）9時～11:50分（8時30分～9時準備）

＊定員：24名

＊対象：市内在勤・在住の成人

＊会場：川越市北公民館（1階会議室）

当日、2日間の実施に当たり、県協会から次のインストラクター3名が参加し指導に当たりました。

＊10月11日：山田 武氏、芦田政芳氏、磯 竹栄 一般参加者：18名

＊10月18日：三浦永夫氏、石附 東氏 磯 竹栄 一般参加者：17名

コートづくりは、8時30分～9時30分で行い、10時から開始、12時終了。

1. 挨拶（北公民館森館長、磯：スタッフ紹介）
2. ストレッチ体操
3. ディスコンの概要説明
4. 試投（10分間）

【第2号】平成30年前半（1月～6月）の主な行事特集

5. 競技 ①チーム編成 6チーム（3～4名／1チーム）
②3チーム／1コート、①②の2コートを使用。各コートのリーグ戦
③各コートの1位同士試合、他の方は応援
④13分7点先取制

6. 成績発表・退館（12時）

参加者の中には、5月の埼玉県スポーツフェスティバル2017（熊谷）に参加した方が3名含まれていました。他の参加者は初めてで、すぐに出来て、簡単で楽しめる競技であり、継続したいとの感想を言っていました。

平成30年度も再び、公民館主催で体験教室を企画開催する事になり、指導の要請があり、受託しました。昨年同様、館長はじめ、職員が熱心に協力をして頂き、参加者を募集してくれました。一般参加者は、22名（埼玉県ディスコン大会の参加者が3名や昨年のリピーターが半数）その実施概要は下記の通りです。県協会から下記のインストラクター3名が指導に当たりました。

（山田 武氏、三浦 永夫氏、磯 竹栄）

- 9：00 現地集合・コート設営（サイズ：4.5m×6.5mの設営・2面）
9：30～10：00 受付（北公民館）・チーム編成・番号札渡し
10：00～10：20 館長挨拶・指導者・スタッフ紹介・準備体操（磯）
10：20～10：40 競技説明・コート毎に分かれ試投
10：40～試合開始（主審：1コート三浦、2コート山田、得点係：磯が務める）
*チーム編成：3～4名／1チーム、合計：6チームが出来る。
*コート割り：1コート：A・B・Cチーム、2コート：D・E・Fチーム
*試合方法：時間制（試合13分＋2分インターバル）7点先取
1コート3チームずつのリーグ戦の後、各コートの1位同士で決勝戦を行った。
11：45 全試合終了・閉会のあいさつ、優勝チームに館長から賞状が授与された。
12：00 後片付け終了、退館

昨年に続き、2回目の体験教室でした。半数の方が初めてのディスコンでしたが、すぐにできるようになり、皆さん大変盛り上がりました。終了後、有志が集まり、今後、どうするか話し合いをすることになりました。北公民館職員の方も熱心であり、今後のサークル化、支部化に進展した活動が期待できます。県協会としても全面的に支援していきたいと思います。



競技を楽しむ参加者の皆さん

長瀬 v s 横瀬大会の歩み

副会長兼横瀬支部長 町田 昇

長瀬と横瀬の合同大会は、長瀬支部が発足した翌年に、秩父郡ディスコン大会に発展させることも念頭に入れて始めてみませんかとの話でスタートしました。最初は横瀬で行う予定でしたが、①長瀬支部が使用している長瀬中央公民館体育館が4コート作れること、②長瀬から横瀬に移動するための車が不足していること（長瀬支部は99%女性で、横瀬はその点男女比は4：6です）の理由により長瀬で行う事に決まりました。初めの内は両支部とも参加メンバー不足の為、埼玉県内各支部へ参加の応援を依頼し、ようやく4コートで行う事が出来ました。

合同大会は今年で4回目、長瀬支部は8チーム出来るまで会員が増加しました。一方横瀬支部は高齢者が多く、参加メンバーが4名不足になりました。今年も他の支部へ1チーム参加をお願いしなければならないかなと思いました。しかし、今年4月から栃の木カフェ大滝（秩父市社会福祉協議会）で、ディスコン練習会を開始して6回目になったので、そのメンバーに参加を募ったところ、60代～70代の4名から参加してみたいとの返事がありました。しかし、大滝は支部でもありませんし、まだインストラクターもおりませんので、横瀬支部のメンバーと混成のチームを編成し、今年は横瀬支部として参加して頂くことにしました。

大滝の練習会は、曜日によっても参加メンバーが変わりますが、全体では28名位の方が月2回練習会を行っております。今後どのくらい広がって行くか結果が楽しみです。私の心づもりとしては、4名程度インストラクター資格を取って頂き、毎週独自で練習会が出来ればと思っております。秩父市はペタンクが盛んですが、屋外で行うより室内で、しかもエアコンの効いた部屋でできる「ディスコン」がとても楽しいと言って頂いております。

今年の合同大会の結果は、横瀬支部（大滝メンバーを含む）が1位～8位まで独占してしまい、長瀬は9位～16位となりました。大滝のメンバーも参加して良かったと言っており、今後の大滝支部発足に向けてよいキッカケになったのではないかと思います。今後は、小鹿野町・皆野町を加えた秩父郡ディスコン大会が実現出来る様頑張ります。



さいたま支部の近況報告

さいたま支部 倉田 優子

ディスコンさいたま支部の会員数は56名となりました。

体験教室の会場は7か所、ボランティアで訪問しているデイサービス施設なども毎月8か所位あります。その他に小学校や公民館などからの受託もあり、会員みんなで分担しながら活動しています。

最近では、蕨市からも声がかかり、活動の輪が広がって嬉しい限りです。これもディスコンをこよなく愛する金森支部長のお人柄がなせる業と思っています。

さいたま市のレクリエーション協会に加入していますので、市のレク協行事にも極力参加することにより、補助金を頂戴しております。労力提供の苦労はありますが、補助金収入は支部財政に寄与しており、大会時の賞品等に還元しております。

今年奈良で開催された全国大会には、さいたま支部から5名参加しましたが、さいたま支部3名で編成した埼玉Aチームが5位入賞という素晴らしい成績でした。

体験教室でもそれぞれの会場担当者の指導のもと、ディスコン愛好者の増加に成果が現われていて、5月に開催した「ディスコン交流大会インさいたま」には、5コート・60名近い参加者があり、大いに盛り上がりしました。**(写真)**

先日も初めて訪問した施設で、車椅子の方達が体験後、笑顔で「また来てね、楽しかった」と声をかけてくれ、こちらが元気を戴いてきました。次回は10月末と約束して帰りました。

ディスコンを愛し、活動を広め続ける、さいたま支部の今日この頃です。



ディスコン新ルールの講習会始まる

所沢支部長 磯 竹栄

埼玉県ディスコン協会では、2018 年 6 月をもって、全日本ディスコン交流協議会へ正式に加入しました。これに伴い、今後、「ディスコン普及啓発ブック」を使用することになりました。県協会ルールとの違いがあり、「ディスコン普及啓発ブック」の講習会を実施することになりました。所沢支部では、インストラクター、及び一般参加者を対象に、6～8 月（午後 1 時～2 時）の定例会時に実践を交えて、主な改正点（相違点）を解説して、全国大会、県大会に備え、新ルールを理解した上で、技術的レベルアップを図っていききたいと思います。

次に、最近の活動をご紹介しますと、下記の通りです。

○定例会・講習会

- * こどもと福祉の未来館（1 回／月）・6～8 月新ルール講習会
- * 並木公民館（1 回／月）
- * 三ヶ島公民館（1 回／月）
- * 狭山ヶ丘コミュニティセンター（1 回／月）

○第 3 回オープンディスコン大会

- * 日時：2018 年 9 月 25 日（火）午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- * 場所：こどもと福祉の未来館体育館
- * 対象：小学校 4 年生以上
- * 会費：200 円／1 人（ただし、会員は無料）
- * 申し込み：事前申し込みが必要
- * 主催：埼玉県ディスコン協会所沢支部

○受託事業

- * 日時：7 月 8 日（日）午後 1 時～3 時
- * 会場：狭山ヶ丘第 8 区集会所
- * 対象：狭山ヶ丘障がい者団体
- * 主催：狭山ヶ丘第 8 区ボランティア団体

今後、毎月の定例会を充実し、多くの市民の参加を促進して、底辺の拡大普及を図っていききたいと思います。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。



体験教室の風景（こどもと福祉の未来館にて）

ディスコン体験5年目への想い

川口支部 宮越 孝朗

ディスコンを始めてから早5年目を迎えますが、ある日ユニバーサルスポーツ『ディスコン』を遣らないかと誘いがあった。今迄、全く聞いた事がなかったスポーツでどんな競技のスポーツかと聞くと、冬季オリンピックの氷上競技カーリングと同じ様な動作で、氷と板張りの違いと聞き、一度トライする事にした。初めは何が何だか上手く行かず、回数を重ねるうちに少しずつ上達していった。若い頃からのスポーツ歴はアイス・スケート、スキー、ボーリング、ゴルフ等などの経験が有り、特にボーリングは大ブームになる前から約8年程、勤務先の社内コンペで毎週火曜日はボーリングディに湧き立った記憶がある。

ディスコンを体験してみるとボーリングと同じ様に、床にディスクを投げる仕草が似た様な動きであり、ディスコンが身近に感じられた。簡単なスポーツであるが只漠然とディスクを投げず、ターゲットを決めた場所にディスクが行く様に、日々練習が大事であると思う。ディスコンが上手に成るにはいろいろと考えて、競技者との勝負でも勝つ気持ちを生む様な闘志が無ければ、三日坊主で終わる事になる。先ずはディスコンを好きになる事が第1である。昔から継続は力なりとも云う。

ディスコンが少し解るように成った時、秩父地方の長瀬へ電車で2時間程掛けて交流試合に行った事がある。この交流を機に横瀬・長瀬支部の方々とディスコンが縁で親睦が生まれたと思う。

近年 100歳以上の高齢者は全国で67,000人以上と発表され、この20年間で6.7倍になっている。高齢者は年齢・体力の衰えと共に身体の一部が必ずどこかが悪くなる。例えば足などが悪くなると外出が困難に成ってくる。近くの公園では、今まで高齢者が毎日将棋を指しに30人以上が車で来て一日中仲間達との交流を楽しんでいたが、今春から公園内が駐車禁止となり尚且つ有料になった。次第に高齢者の娯楽の場所も無くなる時代である。退職後の老人は皆行き場が無く、何もしない様に成る日がやがて来る。この様な多くの人達に幼児や高齢者でも出来る安易なスポーツ・ディスコンを普及させ、更に愛好者を少しでも増やす事が私の希望である。



川口支部の皆さんと
……会員が少し増えました

横瀬のディスコンは楽しいですよ！

横瀬支部 村上 尚之

現在、横瀬支部会員数は27名（男子9名、女子18名）で、毎週木曜日の練習会と日曜日に1～2回の月例会を、朝9時から12時頃まで「横瀬町芦ヶ久保活性化センター」を活動拠点として、健康増進と技術の向上、会員相互の親睦を目的に練習に励んでおります。芦ヶ久保活性化センターは、西武秩父線、芦ヶ久保駅から徒歩4分の「芦ヶ久保果樹公園道の駅」向かい側です。

横瀬支部では今年度から、春、秋と年2回の支部大会を設定し、5月20日に豪華賞品付き春期大会を開催し、大いに盛り上がりました。試合終了後は、慰労を兼ねた食事会で、優勝チームの島田まさ江様、町田美恵子様、村上ケイ子様から優勝の言葉を頂きました。「メンバーに恵まれて優勝出来ました」とお互いの実力をたたえ合うお言葉も頂き、優勝チームにふさわしい挨拶でした。

練習会・定例会の参加者は毎回異なりますが平均17～18名で、3名1チームで5～6チームに編成しますが、事前に準備したくじ引きによって当日のチームメンバーが決まり、毎回異なる組合せで試合が行われ、これもまた楽しみな練習方法だと感じています。これからも支部大会、県大会等を楽しみに練習に励み、また、今年度の県大会優勝を目指し、楽しく練習しております。

埼玉県内のみならず、全日本ディスコン交流協議会の皆様、是非、芦ヶ久保活性化センターにお出かけいただき、練習にご参加いただければ幸甚です。

編集後記

副会長 塩野谷 守夫

今年の定期総会で上部団体（全日本ディスコン交流協議会）への加入が決まり、山田会長を先頭に交流協議会発行のディスコン普及啓発ブック（ルールブック）の講習会が各所で行われています。インストラクターの方は、全員この新ルールの講習会を受講されるようお願いします。

各支部からの報告も写真が多く、興味の沸く内容になっています。

上部団体加入により全国規模？となった当協会には、ディスコン体験会の指導依頼も多くなってきており、「いつでも、どこでも、だれでも出来るユニバーサルスポーツ『ディスコン』」の普及発展を更に進めて行きましょう！！

発行責任者：埼玉県ディスコン協会 会長 山田 武

Tel：04-2942-3746

URL: <http://www.saitama-discon.jp/>